

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	第6回みよし市総合計画審議会		
開催日時	令和6(2024)年2月5日(月) 午前10時30分から午前11時50分まで		
開催場所	みよし市役所3階 研修室1・2・3		
出席者	(会長) 伊藤久司 (職務代理者) 近藤元博 (委員) 赤井憲彦、酒井喜市、富樫佐智子、清田由雅、竹村勉、久野文仁、馬場佑希、佐野真紀、新谷千晶、小野田勝輝、桐山直子、加藤正二、近藤憲司、三宅章介、伊豆原浩二、石崎正樹 ※敬称略 (みよし市)村田副市長、増岡教育長、清水経営企画部長、深谷総務部長、深津福祉部長、加藤こども未来部長、原田市民経済部次長、久野都市建設部長、富田教育部長、新美教育部参事 (事務局)山田経営企画部次長兼企画政策課長、木戸副主幹、岡田主事、加藤主事、林主事		
次回開催予定日	—		
問合せ先	経営企画部企画政策課 担当 加藤、岡田 電話番号 0561-32-8005 ファックス番号 0561-76-5021 メールアドレス <a href="mailto:kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp">kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp</a>		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	—
典 礼 山田次長	本日は大変お忙しい中、また足元の悪い中、お集まりいただきましてありがとうございます。 ただいまより、第6回みよし市総合計画審議会を始めさせていただきます。 本日の審議会は、「みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱」に基づき、会議を公開することとしておりますので御承知おきくださいますようお願いいたします。 なお、本日の傍聴者はございません。 議事に入るまでの進行につきましては、経営企画部次長の山田が務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。 本日の出席委員は定員25名に対して18名ということで、総合計画審議会条例第6条第2項の規定に基づきまして、委員の過半数の出席がございまして、本日の審議会は成立していることを御報告させていただきます。 会議に先立ちまして、令和6年1月から、委員の変更がございましたので、新たに委員に御就任いただきました方の御紹介をさせていただきます。お手元に委員名簿を配付させていただいておりますので御確認をお願いいたします。新しく		

	<p>委員に御就任されたのは、トヨタ自動車株式会社 石崎正樹様でございます。本来であれば、直接委嘱状をお渡しさせていただくところ、あらかじめ机上に委嘱状を交付させていただいております。御理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、審議会会長の伊藤様より御挨拶をいただきたいと存じます。</p>
伊藤会長	<p>皆様、おはようございます。本審議会は、2022年10月に第1回を開催させていただいて、今回6回目になります。</p> <p>本審議会として、前回までで原案を了承していただいておりますので、今回はその原案に対するパブリックコメントが5件ありましたので、それについて御審議いただくこととなります。</p> <p>本審議会としては最後の議論になると思いますが、御忌憚のない御意見をいただければと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
典 礼 山田次長	<p>ありがとうございました。それでは議題の審議に移らせていただきます。</p> <p>審議会条例第4条第2項の規定により、議事の進行は会長が務めることになっておりますので、伊藤会長、取り回しの方をよろしくお願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>それでは限られた時間の中ですが、委員の皆様で十分議論をしていただきたいと思っておりますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは議題の「第2次みよし市総合計画後期基本計画（案）のパブリックコメントの結果について」、事務局より御説明をいたします。</p>
事務局	<p>まず資料の説明をさせていただきます。資料1がパブリックコメントの意見及び意見に対する市の対応を示したもので、資料2がパブリックコメントを基に修正を行った後期基本計画（案）となります。基本的に資料1に沿って説明をさせていただきますが、後期基本計画（案）の修正箇所について、資料2に移りながら説明をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。なお、資料1の右側に記載の後期基本計画（案）の対応ページは資料2のページ数となりますので、参考としてください。</p> <p>それでは資料1の1ページを御覧ください。第2次みよし市総合計画後期基本計画（案）のパブリックコメントの募集は令和5年12月15日から令和6年1月15日まで行いました。募集した結果、1名の方より5件の意見をいただきました。意見の内容と市の対応について御説明します。</p> <p>まず意見番号1は、「目標指標について、令和4年の現状値が平成30年の基準値に比べて明らかに低くなっている項目において、令和10年の目標値が高く設定されている場合、その目標を達成するための改善策が必要であると考え、現状と課題」や「主な取組」でそのことについての記載がない。「現状と課題」で指標がなぜ低下したのかを考察し、「主な取組」でどのように見直したから指標が回復する見込みであるのかを説明した方がよい。」という御意見でした。この意見にかかる具体例として、「基本目標1 取組方針3 取組分野③ 広域交流」、「基本目標2 取組方針2 取組分野④ 生きがい・働きがい」が挙げられています。</p> <p>資料1の右側がこれに対する市の考え方です。具体例として挙げられた「広域交流」については、新型コロナウイルスの影響による事業中止等を受け、現状値が基準値よりも低い数値となっている状況があったため、「現状と課題」にその旨を追記しました。</p> <p>資料2の16ページの「広域交流」を御覧ください。「現状と課題」の5行目の「新型コロナウイルス感染症の影響を受け」と記載している部分が今回の意見を受けて追記した箇所となります。現在、交流事業はコロナ禍前の状態に戻っており、「主な取組1 土別市との交流の推進」に記載のとおり新たにバスケットボールの少年スポーツ交流を行うため、目標値である180人を達成できるものと考えています。</p> <p>資料1の2ページにお戻りください。次の具体例「生きがい・働きがい」につ</p>

いても新型コロナウイルスの影響を受け、交流事業が実施できていなかったために満足度が減少したと考えられるため、「現状と課題」にその旨を追記しました。資料2の27ページを御覧ください。2行目の「また、」から始まる文が追記した箇所となります。

後期基本計画においては、新たに「主な取組3 就労的支援活動の充実」を追加しており、この取組を推進することで、生きがい・働きがいを持って健康に暮らせる環境づくりに努めていきます。なお、目標指標の現状値に誤りがありました。パブリックコメントの前は「53.2%」でしたが、正しくは「69.1%」となりますので修正させていただきます。

資料1の2ページにお戻りください。先ほど説明した2つの項目以外に基準値よりも現状値が10パーセント以上と明らかに下回った取組分野を確認したところ、「基本目標6 取組方針3 取組分野② 雇用対策」も同様の状況となっております。資料2の54ページを御覧ください。こちらの事業についても、「現状と課題」に記載のとおり、新型コロナウイルスの影響による有効求人倍率の落ち込みが指標に影響していると考えられます。後期基本計画の「主な取組2 就労支援の推進」において、「若年層が市内企業へ就職し定着しやすい環境づくりの支援」を新たに追加しており、この取組を推進することで目標値を達成できると考えています。

資料1の3ページにお戻りください。意見番号2については、「市民の役割」について分かりやすい内容であったという意見でしたので、対応は記載しておりません。

意見番号3は「外部評価の結果も「現状と課題」で触れることによって、客観的意見を取り入れた計画になるのではないか。」、具体的には「令和5年度に実施した外部評価の「スポーツ教室開催事業」において、「20歳から40歳代のスポーツ実施率が低いことから、成人のスポーツ実施率を向上させる取組が必要である」という課題が出たにも関わらず、総合計画の中に明確な記載がない。」という御意見でした。

資料2の26ページを御覧ください。「主な取組1 スポーツ活動の支援」で新たに、広く市民にスポーツと触れ合う機会を提供することを追記しております。また、この意見を受け、具体的に20歳代から40歳代とは明記していませんが、成人向けのスポーツ教室の開催なども行っていることから、スポーツ競技団体への支援やスポーツイベントの開催に加え、スポーツ教室の開催についても追記しました。

また、令和5年度に実施した外部評価については、ほかに「コミュニティ広場管理運営事業」、「職員研修事業」、「ICT推進事業」がありますが、後期基本計画には外部評価の意見も踏まえ一定の方向性が示されているため、特に修正等は行っていません。

資料1の4ページを御覧ください。意見番号4「パブリックコメントの実施にあっては、市民アンケートの結果をリンクして公開しているとよい」という意見をいただきました。これについては市の考え方に記載のとおり、令和4年度に実施した市民アンケートの結果については、後期基本計画の公表と合わせて公表する予定であったため、公開はしておりませんでした。しかし、いただいた御意見は妥当であると考えられるため、次期計画策定時は、パブリックコメントの実施に合わせてアンケート調査結果についても公開します。

同じく、資料1の4ページ、意見番号5「まちづくりの進め方 基本的な考え方2 取組項目1 行政情報の公開」の「主な取組1 行政情報の提供と共有化」についてはぜひ進めていただきたい。議会の内容などホームページにも掲載されているが、情報量が多く全てを見るのは大変であるため、キーワード検索することで興味のあるような議案や委員会（議員）を紹介してくれたりするサービスが

	<p>あるとより市政への興味が高まりそうだ。」という意見でした。</p> <p>市の考え方として、「議会だより」の発行や議会会議録のインターネット公開による検索機能、議会報告や意見交換会を開催していることを紹介し、今後もこのような取組を通じて、市民の皆様に議会情報や行政情報を提供できるように努めていくことを説明しています。</p> <p>パブリックコメントの実施結果の説明は以上となりますが、資料2の後期基本計画案については、パブリックコメントをいただき修正した箇所のほか、写真やグラフ等のデータについても掲載していますので御確認ください。</p> <p>説明は以上になります。よろしくお願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>それでは今の事務局からの説明について質疑を行っていきます。意見や質問などがございましたら、よろしくお願いいたします。</p> <p>パブリックコメントをいただいた方は1名で、その方から5件の意見を出していただいています。コロナがありましたので、その辺りの事情を詳しく追記していただいて、今後、アフターコロナということで対応できるという形で回答いただいていると思います。適切に対応していただいていると思いますが、どうでしょうか。</p>
佐野委員	<p>今、パブリックコメントとそれに対する市の対応を御説明いただきました。大変丁寧に対応いただいているという印象を持ちました。</p> <p>感想だけになってしまいますが、今までこのようなところに幾つか参加してきましたが、大体パブリックコメントは「その批判は当たりません」と言って終わってしまうのが多いのですが、みよし市さんはとても丁寧に、意見を汲み取って対応してくださっているという印象を受けました。ありがとうございます。</p>
伊藤会長	<p>資料2において、今回説明していただいた以外のところに下線が入っていますが、これは何か意図がありますか。</p>
事務局	<p>現行の計画との比較で変更があった箇所に下線を引かせていただいております。</p>
伊藤会長	<p>分かりました。非常に丁寧に対応してくださっているので、なかなかこれに対しての意見というのはないような気がしますが、御意見等がありますか。</p>
富樫委員	<p>聞き間違いかもしれませんが、「写真を入れました」という言葉が説明の中にあつたように思います。どの写真をどのように入れ替えられたのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回の後期基本計画を策定するにあたりまして、全体にわたって、写真とグラフ等のデータについて、新たなものに差し替えさせていただいています。</p> <p>資料2に載せているのが新しいものです。それとこの現行計画を見比べていただくと、全体的に新たな写真に差し替わっていたり、年次に対して新たなグラフに差し替わっていたりという形で全体的に変更させていただいております。</p>
富樫委員	<p>分かりました。年月の流れに沿って入れ替えていただいているのであれば結構です。</p>
三宅委員	<p>資料1の意見番号4の上から4行目に、「いくつかの取組分野を見ているときに、ここで市民満足度を指標にするのは適切なのかなと思うことがあります」と書かれています。市民満足度を使用することについて、どういうところが適正であるのかを教えてくださいと思います。</p> <p>おそらくこの方は、市民満足度を目標にすると、全体では100%の方が満足する</p>

	<p>ことはないわけなので、満足しなかった人に対しての対応はどうなのか、というように意味合いも含まれているのではないかという気がしました。ちょっと教えていただければと思います。</p>
事務局	<p>この第2次みよし市総合計画においては、まずもって市民アンケートの満足度を指標に設定するという考え方がありました。今回の後期基本計画の指標設定においても、その考え方を踏襲しているところでもあります。</p> <p>犯罪発生件数など、件数でカウントできるものを指標に設定しているものもありますが、今回の見直しにおいては、もともと市民満足度を指標に設定しているものは、そのまま生かせるものは生かしております。</p>
三宅委員	<p>私もこの指標が一番良いと思います。ただ、例えば市民満足度が87%であれば、13%は駄目だという人がいるわけですので、そういう人たちを放っておいてよいかという決してそうではありません。</p> <p>総合計画というものは、全ての人が満足するわけではないですから、何かそれを補うような文言がどこかにあった方がよいのではないかという気がしました。</p>
村田副市長	<p>市民満足度という指標については、市民の皆さんと行政の互換性を表しており、それに基づいて進めていくというのは御理解いただけていると思います。</p> <p>パブリックコメントの意見番号4の御意見については、その互換性をさらに高めていく上では、市民アンケートそのものがどういうものだったのかが見えないのは良くないのではないかという御意見であると思っております。その部分について、資料1で回答させていただいています。いろいろな満足度があるのではないかということについては、これからの参考とさせていただきます。</p>
伊豆原委員	<p>関連ですが、次の計画へのステップを考えると、ある意味で、これは評価値です。基準値、目標値も確かにそうかもしれませんが、ある意味で評価値になる。</p> <p>アンケートで市民の皆さんがどう考えていただいているのかを見たいというときに、問題は、前回お答えになった層と、次にお答えになった層が違ってくるわけですね。そうすると、前回お答えになった若い皆さんが、次のアンケートの際にどの程度になっているかまでは検証されていません。果たして、前回の割合に対して、今回これだけの割合が上がったという解釈が、本当にそうなのかという確信はなかなか持てません。その辺りについて、行政としてどう判断していくかについても、次のステップのときにしっかり考えておく必要があると思います。</p> <p>評価という意味合いでいくと、アンケートの結果をどうやって使っていくかという辺りは、次の計画策定の際には、内部でしっかり議論しておいていただきたいと思います。</p>
伊藤会長	<p>これについては、アンケートの精度ですとか、標本数ですとか、ある意味数学的、客観的な理論もありますので、客観的なものとして数字を出していただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
三宅委員	<p>商品であれば、欲しくなければ買わなければいいわけです。しかし、市民の場合は、ここが嫌だから転居する、というのは難しいわけです。</p> <p>「非常に良かった」という人もいますし、「どうしても我慢できない」という人がいても当然だと思います。それが駄目だと思いますので、それをフォローするような言葉があった方が、より総合計画の満足度が高まるのではないかという気がしました。商品とは違い、選ぶことはできませんので、そういった点が気になりました。</p>
村田副市長	<p>市民アンケートにおける今の人と未来の人の評価の違いについては、数学的な視点だけではいけない部分があると思いますので、互換性のある価値観が共有できるようなことを、今回、計画策定をした後に早速考えていく必要があると思っ</p>

	<p>ています。最新の手法を研究したいと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>総合計画に基づいて、行政がどのように実施して、市民の満足度を上げていくかという観点で進められるわけですが、地域における一番の問題は、各地域のお隣同士のコミュニティがどうなっていくかという点です。行政ではなかなかタッチしにくいところですが、現実的には一番問題になっています。</p> <p>具体的に言いますと、市が防災計画を組んで、9月にどの地区も避難訓練をやりますが、参加は基本的には本当に限られた人のみです。来るメンバーは大体同じ人しか出てきません。お隣とどうコミュニティを作っていくかという辺りが、次の世代が一番難しくなっていくところだと思います。</p> <p>具体的に言いますと、保育園・幼稚園や小学校までは、お母さん方の横のコミュニティが結構あります。しかし、各地域になってくると、地域活動がかなり希薄になっています。なぜ今、危機意識を持つかという、能登で地震がありました。防災において一番問題なのはお隣同士のつながり、地域のコミュニティがどれだけしっかりしているかが関わってきますが、地域の力がどんどん落ちていきます。基となるお隣同士のコミュニティや付き合いがなくなっていると思います。</p> <p>私は神社関係のこともしておりますが、地域のお宮で厄年の行事をやっても、厄年に入る年代であってもほとんど行事に参加する人はいません。消防団についても、我々の世代は地域のためにやるものだという伝統があり、消防団に入るのが当たり前でしたが、今はほとんど誰も入ってくれません。</p> <p>次の観点として、どうやって地域のコミュニティを復活させていくかについて、ある程度市として考えていかないといけないと思います。この計画の中に入っていない部分を、市としてどうやっていくか。個人的な意見ですが、次の計画の中でやっていかないと、本当に分断化された、みよしに住んでいてもお隣は何をしているかも知らない状況になってしまいます。</p> <p>今、教育委員会がやっていることとして、何とか地域をまとめて学校をもう少し良くしていこうという流れが一つありますが、全体で見たものが非常に希薄で、末端の地域のコミュニティ力がどんどん落ちていくという現状です。多分行政が力を入れれば、自分たちが地域で力を合わせなくてもやっていけるので、コミュニティ力がなくてもやれるという側面もありますが、行政の力と地域の力、上から下へ流していくという縦と、今度は横の方をどう行政がやっていくか。地域の拠点としているような場所を作るということでもあります。行政として横のつながりをどのようにやっていくかという観点を、次の視点として、市が研究しながら、地域としてやっていくのがとても重要だと思っています。</p>
<p>深谷総務部長</p>	<p>資料2の29ページに、新しい言葉で「近助」という言葉がありますが、このことを指しているのではないかという気がします。「近助」は、もともと災害が起こったときには、「自助」、「共助」、「公助」という区分けで行っておりました。その「共助」と「自助」の間に、「近助」という、防災やいざ災害に遭ったときには、もう頼りになるのは本当に隣近所の方という考えの中で、「近助」という言葉をあえて追加させていただいております。</p> <p>先ほど近藤委員がおっしゃった、地域コミュニティの活力がどんどん低下しているということは本当にそのとおりでと思います。非常に難しい話でもありますし、私どもとしても、地域コミュニティの活性化は一つの非常に大きな課題であると認識しておりますが、それをすれば活性化するという策がなかなか出てこないというのも現実であります。地域性というのもあるかと思っております。近年、都市化が進むにつれて、隣近所のつながりが弱くなっているという現実があります。</p> <p>市としても、いろいろな策を講じているつもりではありますが、すぐに解決ができるような話でもありませんので、今後も継続してやっていかなければならないと思っております。</p> <p>先ほどおっしゃったように、市がやりすぎると、地域のコミュニティ力は低下</p>

	<p>するという面はあるかと思いますが、そうは言うものの、やはり市としても、積極的に考えてやっていかないといけないと思っております。次回の計画に限らず、この総合計画に基づいているような計画や事業がありますので、積極的に進めていきたいと思っております。御理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。他はどうでしょうか。</p>
石崎委員	<p>今日初めて参加させていただいております。初めてなので一言、言えればと思ってお時間をいただきます。</p> <p>私自身の話をしますと、みよし市のなかよし地域に5年、おかよし地域に10年住んでおります。その立場で今、トヨタ自動車の人事異動でこの1月より、この席に座らせていただいております。</p> <p>本日この会合に出るにあたりまして、これまでの積み上げの議論でこの資料ができていくということをまず理解した上で、資料を拝見させていただきました。こういった計画が、しっかり議論がなされてできていることに、市民としても非常に頼もしく、行政の皆様にも感謝を申し上げます。</p> <p>その上で、素朴に資料を拝見したときに、向こう20年、10年の基本構想と基本計画という整理であると理解をした上で、その到達時の2038年の目標が6万5,000人である一方で、令和10年の目標が6万3,000人弱ということで、この計画そのものの捉え方として、6万5,000人に対してどちらの目線で理解をしていけばいいのかと感じました。6万5,000人に対して、もうそこには到達しないということを前提に考えるのか、もしくはここにあるような、「住み続けたい」、言い換えると、「新たに住みたい」という方を獲得するという意味で6万5,000人を目指していくのか、どちらなのか。その辺りのところをちょっと感じました。</p> <p>仮に、前者の方であるとすると、日本全体がそうなので、あえてそういう言い方をしますが、いろんな政策の中でどういったところに特に力点を置いて進めていくのかという優先順位のような議論がどこかでやはり必要になってくるのではないかなというのが感じたところの1点目です。</p> <p>もし仮に後者だとして、6万5,000人に引き上げるためにどうするのかということだとすると、もちろん住み続けたいということで、減らないための努力があると思った一方で、増やすために、産業の視点でいうと、例えば今、人手不足の状況ですから、雇用政策でどちらかというところからどれだけ人が来てくれるか、就労してもらえるかということが、当社のみならず、サプライヤーさんも非常に課題としてあるところなんです。この計画そのものは全て網羅されて、十分議論がされているということを十分承知の上で、人口は一つの大きなファクターだと思いますので、どちらの目線で考えていくのかといったときに感じたことを少し述べさせていただきました。</p> <p>本当にこれからは人の取り合いだとか、産業の誘致の奪い合いのようなところかと思っておりますので、積極的に取組をアピールしていくことができるとよいのではないかなと思いました。</p>
村田副市長	<p>ありがとうございます。人口の規模は、まちづくりのベースになってくる非常に大切なことであると認識しており、この計画の中でリンクさせているつもりです。おっしゃるとおり取組をアピールして、ここに住みたいという人たちが増えるように、それから「価値観の見える化」のような行政施策も新たに加えながらやっていきたいと思っております。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。他はよろしいでしょうか。</p>
近藤職務代理	<p>この後、この計画が公表されて市民の方々に伝わると思っています。総合計画ということでアンブレラですね。みよし市の各部局がこの下にありますし、大きな傘の下に、市民の方がいらっしゃると思っておりますが、一方で、市民アンケートにおいて、総合計画を知らない方と知っている方だと、知っている人の方がアンケート</p>

	<p>結果の中身も良かったという傾向がありました。</p> <p>そう意味では、ぜひ今回後期基本計画ができましたので、この計画をたくさんの市民の方に周知して、知っている人を100%にさせていただきたいと思います。</p> <p>前期にどうされたかは知りませんが、ぜひ後期基本計画につきましては、前期以上に市民の方々に御理解をいただきながら、そして次のアンケートで当事者としてこのアンケートに答えていただけるような仕組みがあるとよいと思います。要望になりますが、最後述べさせいただきました。</p>
伊藤会長	<p>はい、ありがとうございます。やはりせっかくいいものを作ったとしても、周知できなければ意味がないというところもでございますので、ぜひいろんな手段を使って周知していただければと思います。</p> <p>では、これで審議会としては終わりになりますので、6回やってきましたが、今後のためにもなりますので、何か一言ずつだけ皆さんから伺って終わりにしたいと思います。</p> <p>いろんな御事情で6回いらっしゃっていない方もいらっしゃるかもしれませんが、感想ですとか、要望ですとか、最後に一言ずついただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
赤井委員	<p>行政区としては、やはり今一番感じているのは、住んでいる人々の意識がどんどん変わってきているということです。非常に利己的になってきていると感じております。</p> <p>それからもう一つは、大変外国人が多くなってきて、これらの人たちに対してどうしていくかということも、我々、これからの課題として今持っております。</p> <p>その辺りのところをこれから考えながら何らかの策を立てていかないと、バラバラになっていくのではないかと心配をしているのが現状です。</p>
酒井委員	<p>今、赤井委員からも話がありましたが、みよし市に限らずですが、縁が薄くなってきているという面は強くなってきているということも、私も社会福祉協議会の立場になって実感をしております。人手不足についても痛感しています。</p> <p>私は、この計画は良いものできていると思っていますので、これを実行といえますか、執行・運用していくにあたっては、市民の皆さんと一緒にやっていくことが大事だと思います。</p>
富樫委員	<p>先ほど傘の下にという素晴らしい言葉を聞いて、やはり市民にこの計画を知っていただくことが一番大事で、それに基づいて、考え方は様々ですが、賛同する賛同しない、参加する参加しない、いろいろな意見がありますが、まずはとにかくこのような計画があって、みよし市はこういう方向に進んでいるということを浸透させていくことが大切です。</p> <p>そのためには、この冊子は厚くて、一般の人だと全部読むのは大変なので、簡略化し過ぎてはいけません、中間のものぐらいで、パッと市民が飛びついて、興味を持って、まず手に取ってもらえるような冊子に今後できたらいいなと思います。</p>
清田委員	<p>みよし市というのはどういうまちなのかと思うのですが、私はみよし市に移って52年になります。昔はボウリング場や温水プール、流水プールがあって、外からみよしに遊びに来られるまちでした。今は、外からみよしに遊びに行こうという魅力がありません。ぶどう狩りができるなど、みよしの特徴を生かして、みよしに行ってみたいというようなまちにしたいと思っています。</p> <p>スポーツの面では、みよし市には総合型地域スポーツクラブが3つあります。この人口で3つあるところはまずないです。そういう面でそういうものをどんどんと広げて、本当に青少年がスポーツを楽しんでやれるような、そういう地域にしたいと思っています。今ちょうど小中学生の部活動を全て地域に移すという動きがありますが、いろいろな面で市の方でも力を入れて協力していただきたいと思</p>



	ますので、よろしくお願いします。
竹村委員	<p>市の総合計画というのは、市の発展のためにあるものだというように理解しております。先ほどお話があったように、発展のために、人口を増やすことや人口流出を防ぐことが必要だと強く感じました。</p> <p>そういった中で、工業経済会の立場として、この計画の中にもありましたが、雇用対策の面で、企業と行政の結びつきにおいて人口流出を避ける、人口を増やすということについて、連携して協議させてもらえればと感じました。</p>
久野委員	<p>この会に参加させていただいて勉強になったと思っています。審議会を通じて計画を作っていくのはとてもいい方向だと思いますが、具体的なことについては、取組分野ごとぐらいで、みよしの中でいろいろな団体や組織機関があるので、直接そういうことに関係の深い方たちの御意見や話を聞く機会を作っていただけるとよいのではないかと思います。</p> <p>いきいきクラブさんや区長会さん、教育関係の機関、養護関係、介護関係など、各種団体があり、総合計画は何年に1回ということで、かなり時間をかけて考えて計画していただけるわけですので、取組分野ごとにいろいろな方の意見を聞いて作成していただくという方向も考えていただけるとよいと思いました。</p>
馬場委員	<p>会議で議論をして、叩き上げて、資料をバージョンアップして、計画書ができたことについてすごいと感じています。</p> <p>先ほど御意見のあったアピール力については、こうやってせっかくこの場で考えているものが、多分市民の皆さんは、私もこの場に出てきていないと分からないと思います。本当に難しいですが、岡崎市を例に挙げると東海オンエアさんのように、ユーチューバーがアピールすると多分影響力はすごいと思う一方で、諸刃の剣で、炎上してしまう可能性もある。それも難しいので、市としてどうやってアピールしていくか。方法はたくさんあると思いますが、アピールして、市民の意見を取り入れるということをやっていくとよいと思いました。</p>
新谷委員	<p>市民活動を長年やっいまして、市民活動の意見を反映させていただくということで会議に参加しています。</p> <p>皆さんからいろいろな御意見が出ましたが、私としては、今すごく大きな社会の変化が次々と起きている中で、これからも起きるだろうというときに、市が作る総合計画というのがどこまで必要で、機能するのかというあり方についても考える必要があるのではないかと思います。</p> <p>誰が5年先、10年先の社会を予測できるのだろうかという、本当に分からないことが非常に増えているというのを実感しています。</p> <p>今回検討した内容は5年の基本計画ということですので、この5年の中で、今後の総合計画の方向性を考えることになるのかなというのを私としては感じています。そのためにも、やはり市民がもっとこの総合計画を身近なものとして捉える必要があるだろうと思いますので、先ほど近藤職務代理者がおっしゃったように市民に計画の周知を図りながら、市民が、自分たちのまちの当事者意識を持てるように、そういう働きかけをしていく必要があると思っています。私たちも、その一つの役割を担うと思っているので、一緒に進めていけたらと考えます。</p>
佐野委員	<p>会議に出させていただいて一番感じることは、この会議では本当に建設的な意見が毎回出されて、出席の皆様方がみよし市のことを本当に真剣に考えてくださっているということをとて強く感じました。そして市役所の方もレスポンスが早いということを感じるところでした。とても感心しながら参加させていただいておりました。</p> <p>皆様の御意見の中で、地域のつながりの希薄化ですとか、どのように計画を皆に自分のこととして捉えてもらうかということが課題として挙げられています。このつながりが薄くなっている、希薄になっているというのは、確かに全国的に</p>

	<p>見られることです。その中でどうやっていくかということですが、そこで諦めるのではなく、何かをしていきたいわけですね。私の専門は福祉で、愛知教育大学におりますので、福祉や教育の視点が強くなると思いますが、みよし市さんをちょっと離れたところから見ておりますと、福祉と教育は縦割りであることが多い中で、福祉と教育の連携がうまくいっているのではないかと思います。</p> <p>まず将来のみよし市を背負う子どもたちに対して、みよし市に対する意識とか、福祉についての意識とか、あるいは地域のつながりの大切さなどをどのように伝えていくかというのも一つの方策にはなってくるのではないかと思います。</p> <p>例えば、先ほど計画の概要版のお話をいただきましたが、例えばこの計画の概要版を分かりやすく、子どもバージョンではないですが、漫画で書くとか、イラストをいっぱいすることも考えられると思います。子どもだから分からないではなく、皆が住んでいるみよしのまちはこんなことを考えているんだよということを伝えていくのもよいのではないかと思います。そして、皆が将来このまちを盛り上げていくんだよ、背負って立つんだよというそんなメッセージを出してもよいのではないかと思います。</p> <p>私自身もこの会議で勉強させていただきました。</p>
<p>小野田委員</p>	<p>今日のパブリックコメントの指摘にもあったように、目標指標については市民アンケートの市民満足度割合がベースになっているということでした。そうしたことから、アンケートの設問内容がそれぞれ周知されていないと、なかなかパブリックコメントで意見も出しにくいと感じました。また、受け取り方によって大分この指標も変わってくると感じますので、今後についてはやはりこのパブリックコメントと同時に、事前にでも結構ですが、このアンケート調査の設問内容を周知されたらどうかという考えを持っております。</p> <p>私は農協の関係で、非常に厳しい状況にあります。農地の面積につきましても、年々減ってきています。受け手の関係についてもなかなか思うように出てこないということで、この先どうなるのかという心配があります。そういう中で、こういった計画の中で、市にも支援体制をしっかりとっていただき、またその取組を幅広く市民の方に周知していただくことを期待しています。</p> <p>全般の内容を見ても非常にきめ細かく、手直しされているという感じがしております。</p>
<p>桐山委員</p>	<p>公募委員として何回か参加させていただき、様々な立場の方の御意見を聞くことができ、また、みよし市がいろんな取組をされていることも知ることができ、すごく勉強になりました。</p> <p>今、私は大学に通っていて、周りの皆がみよしから離れて県外の大学に行ってしまう人が多いという印象をすごく受けています。やはりみよし市の魅力がもっともっと皆に伝わるとよいとすごく思いました。ありがとうございました。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>公募委員として会議に出させていただきましたが、市役所と各行政区の連携も大事だと思って、話を聞かせていただきました。</p> <p>今回を参考に、皆さんがみよし市に住みたいという気持ちを持って、今後長く住み続けていただけるようなまちにしたいと思います。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>私は教育委員会として各学校を毎回訪問させていただいています。長い間、教育畑にいましたので、みよし市や豊田市以外に、愛知県のいろいろなところで勤めさせていただきました。学校の施設や先生については、多分みよし市は本当に素晴らしい設備やサポート体制が整っていると感じており、転校するのであればみよし市がよいと個人的に思っています。</p> <p>資料2の3ページに6つの基本目標があります。どうしたら住みよいまち、住んでみたいまちになるのかと感じています。行政でやることや裏側でサポートすることがあると思いますが、ここには良い言葉がいっぱい並んでいます。</p> <p>例えば、「多世代の交流が活発になっています」とか「災害に強いまちとなって</p>

	<p>います」、「市民の防火意識・防災意識が高まり、地域防災力が向上しています」、「高齢者が移動しやすい環境が整っています」、「草刈りなど市民主体の環境美化活動が行われ、美しいまちとなっています」、それから「子どもたちに自然環境を大切に作る心が育まれています」というように、基本目標ごとにきっちりと書かれています、この辺りの一番元になるのは、ここから出ていく情報ではなく、お隣同士のつながりだと思います。</p> <p>お昼のテレビ番組という、私はNHKを見ていますが、移住を取り上げる番組が結構多いです。移住した人たちは、多分行政サポートがメインと考え移住されたのではありません。なぜ移住したかという、ほとんどの方が隣近所の人との付き合いがいいから住んでいると答えています。どのようにしてその意見が取り上げられたのか、番組の裏側の意図は分かりませんが、そこに移住された方が住んでいる理由はお隣が良かったから、地域のコミュニティが良かったからということで、行政のサポートが良かったからと言われた方を私は今のところ見ていません。</p> <p>自分が勤めた山間部の方ですと、10年間住むと家がタダになります。山間部の方へ行くと、児童手当もはるかに高い金額になります。ところが、愛知県の山間部の方から、また島根の山間部の方でもっと良い条件があると、親子で島根の山間部へ引っ越してしまいます。住みたいまちではなく、行政のフォローの良いところへ転々とするだけで、地域のコミュニティに交わろうとして来るわけではありません。だから、以前、私が勤めたまちは千数百人いましたが、今は900何人に減ってしまっています。</p> <p>そこは別として、住みよいまちというのはやはりお隣の顔が見えて、お隣さんとやっけていくまちづくりという視点が、市役所として入りにくい部分ですが、この行政計画の中に必要だと思います。先ほどの話と同じになりますが、その辺りにメスを入れながら、地道にコツコツとやっけていくことが、この行政計画をよりしっかりやることになると思います。今年で教育委員会の役が終わりになりますので、引き継いで、その辺りをやっけていただけるとありがたいと思います。</p>
<p>三宅委員</p>	<p>まずはここまでまとめていただき、本当に御苦勞様でした。会の運営として、どなたかが話されたと思いますが、地域の代表の方に来ていただき、20分、30分でもいいですので、お話を聞く機会があっても良かったかなと思いました。</p> <p>それから、これからのみよし市のことですが、私がいつも思っているのは、外から日曜日に「みよしにでも遊びに行ってみよう」と思ってもらえるまちになるとよいと思います。働くにはいいまちだと思いますが、みよしにはいいところもあるわけですから、そういう地域になってほしいです。そういう遊び心が生まれるとよいと思います。</p>
<p>伊豆原委員</p>	<p>私はみよしで生まれ、高校生までみよしで生活していましたが、今は別のところに住んでおります。地域公共交通会議という立場からは、なかなか皆さんにメッセージが出せていなかったのではないかと少し反省しております。</p> <p>総合計画はどうしても全ての行政に対応するプランを作るというスタンスでいかざるを得ないと思っています。だから、そういう意味では、目標値を作って、その目標に向かってどのようなことをやるかという話になると、各部局または担当部局ということになります。そういう意味での発言は少しさせていただいたかなという感じがします。</p> <p>公共交通については、みよし市は、名鉄バスさんがメインですが、東西交通はそうでしたが、南北交通についてはほとんどなかったのが、2000年頃、もう25年くらい前ですが、さんさんバスというバスの仕組みを作り上げて、実は皆さん御存じないかもしれませんが、コロナが終わって、過去最高の利用者数となりました。令和5年度は確か、過去最高で30万人を超していると思います。そういうところまでようやく来たかなと思っています。逆に言うと、6万人の人口規模で、人口の5倍の御利用があるというまちは、愛知県の中でもそうあるわけではありません。みよし市は随分公共交通が育ったなと言いながら、市民の皆さんから見</p>

	<p>れば、まだまだサービスが足りないというお話もいただくわけです。</p> <p>やはり市民の皆さんからいろんな御意見をいただいて、こうしたら直るだろうか、こうやったらうまくいくだろうか、という辺りをどこまで議論していただけるかというのがこれからの課題だと思います。</p> <p>先ほどお話がありましたが、要は「現状と課題」というスタンスをコメントして、それに基づいて、私たちはこの5年間をどうするのかを作ったのがこの総合計画です。先ほど近藤委員がおっしゃったように、基本目標の中で2038年にこういう姿が完成されたまちがみよしの目指すところだと言いながら、実はこの5年間に何をやるかをここで議論したと思います。</p> <p>そういう意味でいくと、ちょっと気になったのが、どうしても課題対応型にならざるを得ないわけで、いわゆる短期的な5年間ぐらいの話だと、見通しも見えるので、今何が課題になっているのか、問題になっているのかというのを見ながら、次のステップへ進まざるを得ないというのがこのスタンスだと思います。</p> <p>問題は、先ほどお話があったように、5年よりも先の10年、20年後にどうなのかという辺りは実は見えないところが増えてきました。いわゆる過去のトレンド型で私たちの将来を見るというのは、ちょっと辛くなってきた社会ではないかと思います。見通しが見えなくなってきました。</p> <p>だからその辺りをこれからもう一度整理していただいて、行政の皆さんも、それから市民の皆さんとの対話もどれだけやっていけるのかというのがこれからの問題かなというように思いました。作った計画が市民の皆さんに御理解いただけるかは、多分、各担当部局がどれだけ頑張ってくれるかによるとと思いますので、行政の方をお願いをして私の意見にします。</p>
石崎委員	<p>自分事ですが、娘がこの春に大学で他県に行きました。帰って来ないかと思っ ていましたが、先日話をしたら、「やっぱりみよしはいい」というようなことを言 っていました。郷土愛、シビックプライドという言い方をしますが、みよしは良か ったということを外に行って知るという意味で、いろんな人がこの計画づくりに参 画できるとよいと思いました。小中学生の声を聞かれるとか、聞かれている場面 もあるかと思いますが、若い世代に、自由な発想で意見を聞いて、柔らかい頭で 次につながるような絵を描くというようなことも面白い切り口になるのではない かと思いました。</p>
近藤職務代理	<p>職務代理者として6回出ましたが、皆さんのご尽力でまとまったと思います。 最後に私はやはり地域のコミュニケーションがすごく大事だと思っています。 この間の能登震災などのように、停電をしてしまうと、ガソリンスタンドがあ っても石油が汲めないんですね。実はガソリンスタンドには自家発電が入っている スタンドがあります。これは国の予算で入るのですが、自家発電が入っているス タンドと入っていないスタンドがあって、自家発電が入っていると停電しても、灯 油やガソリンを供給できます。地域にとってみると、毎日行くガソリンスタンド にそうした機能があるのかないのかは分かりません。ところが、それが分かっ ている人と分かっている人だと初動に差が出ます。こういうときにお隣さんに聞 いたら、「あそこに行くところあるよ」と教えてもらって買えたということもあります。 地域にとってみると、いろんな情報は大事で、その情報が有事のときにも皆 さんで共有できるというのは重要だと思います。今回のこの計画についても、い かに市民の方々に知ってもらおうか。そしてこれを皆さんの中でいかに共有化し て、さらに良くしていくかが大事だと思います。そういう意味も含めて、市役所を中 心に、地域コミュニケーションを作っていただければよいと思いました。</p>
伊藤会長	<p>皆さんに御意見、御感想をいただき、非常につたない会長でしたが、6回の会 議を通して、毎回、皆様の建設的な御意見をいただき、後期基本計画はすばらし いものできたと思っております。</p> <p>何人かがおっしゃっていますように、やはり市民の方に少しでも知っていただ いて、御自身が住んでいるまちがどこを目指しているのか、それに対してどのよ</p>

	<p>うに関わっていくのかというような意識を持っていただけるようにしていただければと思います。</p> <p>少し時間をオーバーしてしまいましたが、以上をもちまして本日の議事を終了したいと思います。</p>
村田副市長	<p>本当にありがとうございました。委員の皆さんからお話をいただきまして、公共の利益と個人の利益が対立する部分は必ずあり、このような計画の中ではそれがあまりないようにいけるかもしれませんが、いろいろな御意見をいただく中で、地域へ降りていけば降りていくほど、そういう部分が出てくるのが現実だと思います。その部分も含めて、私たちは考えていきたいと思っています。行政としては、トレードオフ、機会費用、何かをやったら何かを止めなければいけないという選択をいつも迫られているのですが、やはりこの大きな指針となるこの総合計画に基づいて私たちはやっていきたいと思っています。</p> <p>それと、「見える化」、皆が分かるように、たくさん知ってもらおうよという部分については、いろんな御意見をいただきました。SNSだとか、いろんな方法があると思いますので、そこは職員で研究してやっていきたいと思っています。</p> <p>全ての御意見をエールとして受け止めまして進んでいきたいと思ひますし、「愛知県のみよし市に住んでいます」と、どこにいても言えるようなまちづくりを目指していきたいと思ひますので、またこれからも叱咤いただきまして、御意見いただきたいと思ひます。全体を通してのお礼とさせていただきます。</p>
伊藤会長	<p>昨年度から2年間にわたり、本審議会を開催してきました。後期基本計画の審議は、今回の審議で固まったと認識しております。今回、皆様に御審議いただいたこの計画案を最終的な審議会からの計画案として、市長に答申してまいります。答申につきましては、会長であります私のみの出席で実施したいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>長時間にわたる御審議に御協力いただき、誠にありがとうございました。それでは以後の進行を事務局にお返しいたします。</p>
典 礼 山田次長	<p>当審議会は、最後の会議ということでございます。2年間にわたりまして、皆様方には、様々な御意見、御協力をいただきまして大変ありがとうございました。</p> <p>この後、計画の公表をさせていただいていく予定ではございますが、計画の印刷を予定しておりまして、来年度4月以降に製本することを考えておりますので、そちらの方ができ次第、皆様方のお手元へお届けをさせていただきますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>では、長期間にわたり御審議いただきありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、第6回みよし市総合計画審議会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。</p>